

黒岩 岳雄

〔ふらの未来の会〕

土砂災害予防

問 土石流災害の警戒と予防策について。

答 土砂災害警戒区域として、北の峰の北2線川をはじめ4箇所が指定されている。指定された際は、地元説明会や土砂災害を想定した避難訓練を行っている。また砂防、治山事業の実施を関係機関に要請している。予防策は、危険箇所を知ること、そこに住んでいることを認識することが最も大切なことと考え、今後とも周知、啓発に努める。

外国人観光客誘致は

問 外国人観光客増加のための施策について。

答 ブランド観光圏の確立、宿泊・体験・二次交通の外国人向け予約システム導入によるサービスの充実、またリスク分散を含め、複数の国々や新市場の開拓など、国や関係機関、団体と連携し効果的な誘客に努める。

問 I-T、Wii-Fiによる情報提供とその環境整備について。

答 外国人観光客が一人歩きできる環境には不十分と認識している。情報発信の多言語化、情報収集のWiFiスポットの拡大は重要な課題である。関係団体、民間事業所との連携を図りながら環境整備に努める。

問 外国人対応のガイド育成による観光案内の充実について。

答 外国人観光客の対応は、おもてなしなど大変重要と認識している。関係機関と連携し人材育成に努める。観光案内所の充実がブランド観光圏確立に重要な要件となっており、広域内で協議を進めている。多目的利用の可能性についても検討する。



観光案内所へ訪れた観光客

岡野 孝則

〔民主クラブ〕

農業担い手の将来は

問 過去5年間の新規参入と農業後継者の就農状況は。

答 新規参入者が9名。農業後継者が32名計41名。この数は農家の世代交代を30年で1世代と想定した場合35%の充足率。

問 農家子弟としての就職率が低下している。市内農業に有能な農業者が多くおられる。これらの方々の指導の下、地域が後継者を育てる考えは。

答 従前は共同作業、地域活動の中で若者の育成が行われてきた。近年、各経営体において規模拡大が進み、個別完結型の家族経営が志向され、地域のつながりが希薄化されてきている。農業に関する技術・知識・経験に限らず、地域の伝統等地域内において継承しなければならず、地域で自ら育てる対策を再度認識いただきたい。

問 新規参入対策も重要施策だが、農業後継者対策に力を入れ

現在、ソフト事業を中心に展開しているが、農業意欲向上に直結する、施設補助等ハード事業に力を入れるべきではないか。

答 現在、農政審議会で間接的な支援が良いのか、直接的支援が良いのか議論を交わしている。



6次産業化セミナー風景

家庭教育の重要性

問 家庭教育講演会は、延べ10回152名参加されているが、近年、青少年による凶悪犯罪が目立つ。ある教授は、家庭内の会話不足により心が貧しい状況により悪に走るケースも要因と言っている。家庭教育の重要性を再認識すべきと考えるが。

答 重要課題と認識。今後、広報等で周知も含め検討したい。